

讃美歌491番 きよき朝よ

1. きよき朝よ、たのしき日よ、
世のちりより しばしほなれ、
つきせぬよろこび
うくるぞうれしき。

2. 主はさかえの みくらにつき、
きよきたみを おさめたもう、
つみあるひとびと、
かしこみおそれよ。

3. みたまの鳩 ここにくだり、
主のめぐみを とくしめして、
われらのこころを
あらたにしたまえ。

原歌詞 Welcome, delightful morn,

1
Welcome, delightful morn,
Thou **day of sacred rest!**
I hail **thy kind return;**
Lord, make **these moments** blest:
From the low train of mortal toys,
I soar to reach immortal joys,
I soar to reach immortal joys.

2
To spend **one sacred day**
Where God and saints abide
Affords diviner joy
Than **thousand days** beside;
I love it more where God resorts,
To keep the door than shine in courts.
To keep the door than shine in courts.

3
Now may the King descend,
And fill His throne with grace;
Thy scepter, Lord, extend,
While **saints** address Thy face;
Let **sinners** feel **Thy quickening word**,
And learn to know and fear the Lord,
And learn to know and fear the Lord.

4
Descend, celestial Dove,
With all Thy quickening powers;
Disclose a Savior's love,
And bless the sacred hours;
Then shall my soul new life obtain,
Nor Sabbaths be enjoyed in vain,
Nor Sabbaths be enjoyed in vain.

翻訳 ※右記の自動翻訳結果を一部編集

1
ようこそ、喜びの朝よ、
聖なる休息の日、安息日よ！
慈愛に満ちたあなたの巡来を心から歓迎します。
主よ、このひとときを祝福して下さい。
廃れゆくおもちゃの様な低い列から、
私は永遠の喜びへと舞い上がります。

2
神と聖徒が住まう
聖なる一日を過ごすことは、
千日よりも神聖な
喜びを与えてくれます。
神が住まわれる場所を私は愛します、
宮廷での輝きより、神の宮の門衛を。

3
今、王が降臨し、
御座を恵みで満たしてくださいますように。
主よ、笏を差し伸べてくださいますように、
聖徒たちが御前に祈り求める時。
罪人たちがあなたの生ける御言葉を感じ、
主を知り、畏れることを学びますように。

4
天の鳩よ、
あなたのあらゆる生ける力を伴って
下って来てください。
救い主の愛を示し、
この聖なる時を祝福してください。
そうすれば、私の魂は新たな命を得、
安息日が空しく過ごされることはありません。